



なお、本製品は他の特異的 IgE 項目と参考基準値と使用条件が異なります。

【参考基準値と使用条件】

陰性：0.35UA/mL未満  
疑陽性：0.35UA/mL以上 4.0UA/ml未満  
陽性：4.0UA/mL以上  
イムノキャップ特異的 IgE f13 ピーナッツ陽性者（0.35UA/mL以上）  
での試験結果によります。  
判定には既存の特異的 IgE で用いられるクラス（0-6）を使用しません

参考

- 1) Adv Food Nutr Res 62:139-171, 2011
- 2) Int Arch Allergy Immunol 154, 216-226, 2011
- 3) J Allergy Clin Immunol, 127, 684-685, 2011
- 4) 日本小児ア誌27(4), 621-628, 2013
- 5) Pediatric Allergy and Immunology 23, 573-581, 2012

\*\*\*\*\*

検査項目 : イムノキャップ アレルゲンコンポーネント  
Ara h 2 (ピーナッツ由来)  
検体量 : 血清 各0.3 mL  
容器番号 : 1  
保存方法 : 冷蔵  
検査実施料 : 各 110 点  
検査判断料 : 144 点 (免疫学的検査)  
所要日数 : 3 ~ 5 日

\*\*\*\*\*

〔 2 〕 検査項目情報：インフルエンザ(HI)測定株変更について

インフルエンザ(HI)測定株を本年度インフルエンザ製造株に対応した試薬に変更いたしますので、ご案内申し上げます。  
また、本年度につきましては、4 価のインフルエンザHAワクチンとなっております。

\*\*\*\*\*

新	旧
A/カリフォルニア /7/2009/(H1N1) pdm09	A/カリフォルニア /7/2009/(H1N1) pdm09
A/スイス /9715293/2013 (H3N2)	A/ニューヨーク /39/2012 (H3N2)
B/プーケット /3073/2013 (山形系統)	B/マサチューセッツ /2/2012
B/テキサス/2/2013(ビクトリア系統)	

\*\*\*\*\*

詳細につきましては、下記 URL をご覧ください。  
<https://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-1019-01.pdf>

〔 3 〕 梅毒の現状について

梅毒の感染者は2015年第39週までの報告数で1758件と昨年の総報告数を上回りました。  
梅毒感染者の数は2012年頃から年々上昇しています。  
このことから厚生労働省はウェブサイト「梅毒に関する Q & A」を掲載し注意喚起を始めました。(2014年2月)  
感染経路には母子感染と性交渉や輸血などがあり、それぞれ先天梅毒と後天梅毒と分類されます。

- ・ 先天梅毒：母子感染（母体より胎盤を通して胎児が感染）  
早期先天梅毒 出生時に胎内感染を示す臨床症状、検査所見のある

後期先天梅毒 症例。(生後2年以内)  
乳幼児期に症状を示さず、学童期以降に症状を示す  
症例。(生後2年以降～20年)

- ・後天梅毒：性交渉や輸血などにより感染
- 顕症梅毒 早期梅毒(感染力があるはじめの2年程)
  - 1期梅毒 感染して3週間後、男女ともに性器に小豆大の硬いしこりができ、数週間で消失する。
  - 2期梅毒 後3ヶ月後、TP抗体が体内に広がり、全身および口腔内に発疹ができ、数週間、数ヶ月で消失する。
- 晩期梅毒
  - 3～4期梅毒 3～10年後、心臓や脳が侵され死に至る。(現在では殆どみられない)
- 無症候梅毒(潜伏梅毒)
  - 1期～2期への移行期や、2期の発疹消退後など、梅毒特有の症状が外見上確認されないが感染中。

近年の増加の主な原因は男女ともに異性間性的接触による感染で、特に女性の増加が顕著です。このことから先天梅毒増加にも注意が必要です。

厚生労働省による注意喚起「梅毒に関するQ&A」は、下記URLをご参照下さい。

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikanse/nshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikanse/nshou/qanda2.html)

\*\*\*\*\*

検査項目 : RPR法 定性(梅毒脂質抗原使用検査)  
検体量 : 0.5 mL  
容器番号 : 1  
保存方法 : 冷蔵  
検査実施料 : 15点  
検査判断料 : 144点(免疫学的検査)  
所要日数 : 2～3日  
基準値 : (－)

\*\*\*\*\*

検査項目 : TPHA法 定性(梅毒トレポネーマ抗体)  
検体量 : 0.5 mL  
容器番号 : 1  
保存方法 : 冷蔵  
検査実施料 : 32点  
検査判断料 : 144点(免疫学的検査)  
所要日数 : 2～3日  
基準値 : (－)

\*\*\*\*\*

#### 「4」 KMLインフォメーション 9月～11月分のお知らせ

前回メールニュースを配信しました後から現在までに発行されました「KMLインフォメーション」についてお知らせ致します。

各インフォメーションにつきましては、医院様へ随時お届けしておりますが、ご確認などに活用して頂ければ幸いです。

2015年9月28日 日本ヘリコバクター学会からの注意喚起に関するお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0928-01.pdf>

2015年9月28日 特定疾患治療管理料、算定留意事項改正のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0928-02.pdf>

2015年9月28日 検査内容変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-0928-03.pdf>

2015年10月19日 検査内容変更のお知らせ 1  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-1019-01.pdf>

2015年10月19日 検査内容変更のお知らせ 2  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-1019-02.pdf>

2015年11月24日 検査内容変更のお知らせ  
<http://www.kml-net.co.jp/pdf/2015-1124-01.pdf>

■ □ = = = = =



最後までお読み頂きまして有り難う御座いました。

編集／発行 <http://www.kml-net.co.jp/>  
株式会社 京浜予防医学研究所  
〒216-0001 神奈川県川崎市宮前区野川 1432-1

= = = = = □ ■